

歴史講座 模型・映像制作秘話

日時	令和6年6月8日・6月22日・7月6日（土曜日 全3回）13：30～15：30
会場	講堂
講座内容 （第1回）	「室町時代の港町」 受講者数 71名 講師：中元幸二（当館学芸員）、金子千秋（当館学芸員）
講座内容 （第2回）	「江戸時代の御台場築造」 受講者数 70名 講師：大八木謙司（東京都埋蔵文化財センター調査研究部調査課主任調査研究員）、 富川武史（当館学芸員）
講座内容 （第3回）	「明治時代の鉄道開業」 受講者数 64名 講師：斉藤 進（港区埋蔵文化財調査指導員）
延受講者数	205名

〔講座内容〕

第1回：中世の太平洋海運と港町（湊町）の様子を歴史資料に基づき、ライブステージの映像「常滑大甕、品川への旅」と「絵図でめぐる妙国寺の参詣」および妙国寺絵図の展示ケースの前にあるタッチモニター「自由に探検」「もっと詳しく！」の制作の舞台裏を紹介した。

第2回：ライブステージ「品川御台場の築造復元模型」の制作秘話。品川台場を発掘調査した経験を持ち、埋蔵文化財の観点から模型制作監修を依頼した大八木氏（考古学）を招き、同遺跡調査で文献調査を担当した富川とのトークセッションにより、築造工程順に台場が出来上がっていく様子を解説した。

第3回：ライブステージ「品川停車場復元模型」の制作秘話。新橋停車場や高輪築堤などの発掘調査を担当し、埋蔵文化財の観点から模型製作監修を依頼した斉藤氏（考古学）を招き、調査で得られた成果の紹介を踏まえながら、品川停車場周辺の風景復元を紹介した。